



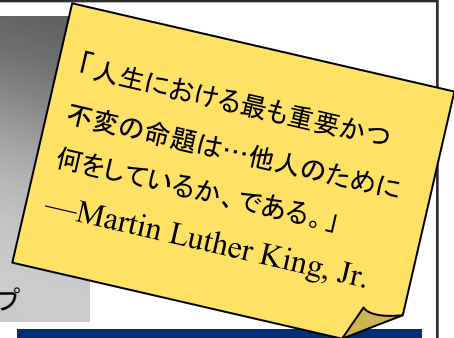
# The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 20 | Issue 1 | September 2016

## ➡ In this issue...

- ▶02...理事長よりご挨拶
- ▶03...新任スタッフ
- ▶04...IBディプロマの結果-2016年7月
- ▶05...創立者奨学金
- ▶05...KISTの人工芝の安全性について
- ▶07...エレメンタリーインターン
- ▶08...K1及びK2の変更点
- ▶09...5年生美術遠足
- ▶14...セカンダリースクールクラス委員
- ▶16...Lilyaのイタリアレポート
- ▶17...セカンダリーSRC
- ▶21...慶応大学での夏のインターンシップ



## 学校長より

皆様、楽しい夏休みを満喫されましたでしょうか？

今年度も、夏休み期間中に更に大きく成長した生徒たちを再び学校に迎えることができたことを嬉しく思っています。また、Welcome Nightには、多くの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。今年は3日とも、大変暑い中でのWelcome Nightでしたが、他の保護者との交流や、お子さんの担任との面談、昨年度の達成度などについての情報共有を有意義に感じていただけましたら幸いです。

皆様も御存知の通り、2016-17年度でKISTは創立20周年を迎えます。20年前、生徒よりもスタッフの数が多く、小さな幼稚園としてスタートしたKISTが50カ国以上の国籍を有する生徒数600人以上の有名インターナショナルスクールに成長することができました。IBの3プログラムを提供し、常に高いDP結果(2015年には日本一高いDP結果を獲得)をもたらしている学校として、KISTの高い学力が、広く知られることになりました。生徒、保護者、教職員からなるコミュニティ全体が学校の発展と、子どもたちのために成功の学習環境を提供するというミッション達成のために貢献し、尽力いただいたことは私達にとっての大きな誇りです。

Parent Welcome Nightsでも発表させていただきましたが、KIST理事会では2016-17年度に向け、ミッション・ステートメントに若干の変更を加えました。「意欲の高い生徒」を「学習意欲の高い生徒」に変更しただけですが、この変更によって学校の目標や理念をより明確に皆様にお伝えできると考えております。

7月中、学校は公式には閉鎖されていますが、この期間は学校にとって前学年度のIBDP公式結果を待ち受ける重要な時期です。昨年度は、2018年度までの達成目標DP平均36点に限りなく近い35.92点を取得しましたが、2016年度卒業生は、36.64という素晴らしい成績を獲得しました。これにより、2016年度のIB DP公式平均は37点となりました。これは世界平均の30点、アジア太平洋DP平均33点をどちらも大きく上回る高得点であり、KISTはこのような素晴らしい成績を非常に誇らしく思っています。世界的に見て、DPで40点以上を獲得する生徒はほんの10%に過ぎません。その中で、2016年度卒業生の3分の1にあたる12名が40点またはそれ以上の点数を獲得し、KIST創立者奨学金の対象となったことを非常に誇らしく思っています。これらの結果は学校の評判の向上に著しい影響をもたらし、これから卒業する生徒たちの大学出願や、夢の実現に大きく貢献してくれると確信しています。

次のページに続く

## DATES TO REMEMBER



### September 2016

- 12 MYP information session for G6 parents and new parents
- 17 (G9-G12) High school drama festival (Hosted @ Saint Maur)
- 17 Staff development day (No school for students)
- 18-25 Silver Week vacation
- 26-27 School photographs
- 27 PYP information session for new parents (\*Evening)

### October 2016

- 1 SAT@KIST
- 3 (W) Free dress day (Arranged by Secondary SRC)
- 10 School day
- 10 (G1-G5) Field Day
- 10 (G10) MYP Personal Project information session (\*Afternoon)
- 13-14 (G5) Tech day camp
- 15 School explanation day (for prospective parents)
- 17 2017-2018 enrollment applications open
- 19 (G10) PSAT tests
- 21 KISTival preparation day (K1-G5) No school for students (S) School day
- 22 KISTival 2016
- 23-30 Autumn vacation
- 31 School resumes for all students



KIST is an IB World School

PYP | MYP | DP

## 前ページの続き

DP結果に関連したご報告をもう一つ、皆様と共有させていただきます。40点以上を獲得した生徒の内、70%近く、また、全卒業生の55%近くがKISTにPYPから在籍していました。インターナショナルスクールでは通常、生徒の転出入が多いのですが、上記結果は、本校コミュニティの定着率の高さと、低学年から質の高い教育を実施していることを反映したものであると考えます。

2016年の卒業生の皆さんの素晴らしい成果をお祝いするとともに、学校の目標達成のためにご協力いただいたコミュニティの皆様にご感謝いたします。この素晴らしい成果をもたらしたのは、卒業生一人ひとりの努力であることはもちろんですが、PYP、そしてMYPにおいて彼らがDPで成功するための基礎を作ることは、コミュニティの皆さん全員の協力なしにはありえなかったことです。今回の成功をコミュニティ全体で誇りに思い、祝いたいと思います。

最後に、この場をお借りして、いつもCometの発行に貢献して下さる皆さんにも感謝いたします。また、読者の皆さんのご協力・ご関心にも感謝いたします。

今年度も、生徒たちの可能性を広げ、良いところを維持し

つつ、更に発展していくために、皆さんと手を携えて行けることを楽しみにしています。改めて、皆さんの日頃のご協力に感謝いたします。そして、学校に関するご質問、ご意見等ございましたら、どうぞ学校、または私にご連絡ください。

**Jeffrey Jones**  
Head of School




**mission**  
K. International School Tokyo provides academically motivated children from diverse cultural and social backgrounds with high quality education in a safe and nurturing environment to develop competent and moral individuals who make meaningful contributions to our global community.

K インターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった学習意欲のある子どもたちに、安全で人をはぐむ環境の中で、質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する、人格的に秀でた有能な若者を育成する。

*Learning for life*

## 理事長よりご挨拶

### IB教育を受けるにあたって

ご存知のとおり、本校のミッションは‘人格的に秀でた有能な若者を育てること’です。そのために最も適したプログラムとしてIBを選びました。なぜなら、IB教育の要諦は考える力の養成、強化にあるからであり、それが実社会でリーダーに求められる重要な能力であるからです。知識の暗記は知識の量を増やす(考える上での材料を増やす)ためにとても重要です。しかし、知識をどのように有機的に繋げていくかを考える姿勢があって、初めて知識は生きます。その姿勢がなければどんなに大量の知識を持っていてもそれを有効に使えません。考える力は育ちません。

過去の問題を数多くこなすこと(パターンを暗記するため)が、試験で好成績を収める有効な手段であると思いい、そのことばかりに集中している生徒がいると聞きます。

これでは‘考える力’を養っていくことは出来ません。新しいパターンに対応出来る能力は育ちません。せっかくIBの教育を受けているのに、その真の果実を手にする事は出来ません。



新学年度の始めにあたり、生徒の皆さんの有意義な学びを切に願っております。

**Yoshishige Komaki**  
Board President



# 新任スタッフ

2016-2017年度の新任スタッフをご紹介します。KISTに新たに加わったスタッフを暖かく迎えてください。

## 教員



**Kimberley Biggs**  
MYP Science /  
DP Biology



**Pamela Chan**  
MYP Science, Math /  
DP ESS



**Ciaran Downey**  
MYP Design /  
Tech. Integration



**Louise Green**  
MYP Mathematics



**Mai Inagaki**  
KIPS P0, P1



**Jade Jagroo**  
MYP/DP English



**Luke Jones**  
MYP/DP Visual Art



**Yugo Nakamura**  
MYP/DP Mathematics,  
Economics



**Tatsuya Sakuma**  
MYP Japanese



**Hitomi Shimizu**  
KIPS P0, P1

## 教育サポートスタッフ



**Jessica Bouchard-  
Belanger**  
ELS Instructor  
(Secondary)



**Clifford Green**  
ELS Instructor G3



**Emma Moulder**  
Teaching Assistant  
K1A



**Yuko Tanahashi**  
Teaching Assistant  
K2A



**Justin (Jay) Wilson**  
ELS Instructor G4

## オフィススタッフ



**Sookhee (Stephanie) Pae**  
School Nurse



## IBディプロマの結果—2016年7月

夏休み期間中に、2016年度卒業生のIBディプロマ結果が公表されました。下記表は昨年度卒業生の結果と、2014年から2016年の卒業生の結果をまとめたものです。

卒業年度	12年生の数	IBディプロマ 取得生徒数	合格率 (フル DP)	IB ディプロマ 取得生徒平均点	世界平均	KIST最高得点 (45点満点)
2016	38*	36	97%	36.6	30.1	43
2015	29	26	93%	35.9	30.2	45
2014	37	33	94%	33.4	30.1	43

\*2016年は37名がディプロマを受験し、1名がCertificateを選択

上記表が示す通り、2016年度卒業生の結果は、KISTの目標であった36点を大きく上回る点数獲得を達成しました。また、昨年度卒業生のうち、37名がフル・ディプロマに挑戦し、36名(97%)が合格を果たしました。KISTは、IBが公表する以下3分野の統計に勝っています。2016年5月の世界平均30.07に対し、KISTの平均点はそれを大きく上回る、36.64(四捨五入により37)点でした。また、世界的には、IBディプロマ候補(履修者)の50%以下のみがフルディプロマに挑戦し、そのうち、合格者は80%です(97%の生徒がフルディプロマを履修し、本試験での合格率も97%でした)。

右図からもご覧いただけたとおり、KISTで提供されているほぼすべての教科で、IB世界平均を超えた教科平均点を取得しており、13の教科で世界平均を1点以上(IBの7点満点スケールで)上回っています。また、2つの教科で世界平均を2点以上上回っています。

KISTにとって更に重要な点は、2016年度卒業生のうち、以下12名の生徒が40点またはそれ以上を取得したということです: **Tyson**と**Keun Woo**が40点、さらに、**Pranita**、**Raghav**と**Saya**が41点、**Angela**と**Misol**は42点、そして素晴らしいことに、以下5名、**Jiaying**、**Anisha**、**Ji Ye**、**Motoi**そして**Sara**が43点という好成績を達成しました。

最終的に37名中34名(92%)が30点以上(合格には最低24点必要です)の得点でIBディプロマを取得しました。そのうち8名は、2言語を「第一言語」として履修する、**バイリンガルディプロマ**を授与されています。

IBディプロマ結果についての総合的な情報を

お知りになりたい保護者の方は下記をご覧ください: <http://www.ibo.org/en/programmes/diploma-programme/assessment-and-exams/getting-results/>。IBはディプロマ結果をまとめた「統計結果」を上記ウェブサイト上で公表します。2016年5月試験の「統計結果」は10月・11月に公表される予定です。

この場をお借りして、卒業生の全員のDP試験での成功を称えたく思います。12年生を担当し、平均37点というKISTの素晴らしい結果に貢献した教師の皆さんのご指導にも感謝いたします!

**John Rose**  
DP Coordinator



Course	Level	KIST DP Course Average	IB DP world averages for 2016	+/- over IB DP world average
English A L&L	HL	5.80	5.05	0.55
	SL	5.83	5.17	0.66
Japanese A L&L	HL	6.33	5.88	0.45
	SL	5.50	5.51	-0.01
Japanese Ab initio	SL	5.75	5.00	0.75
Japanese B	HL	6.94	6.25	0.69
	SL	6.57	5.11	1.46
Mandarin Ab initio	SL	7.00	5.45	1.55
Business and Management	HL	6.00	4.70	1.30
	SL	6.00	4.80	1.20
Economics	HL	5.65	5.12	0.53
	SL	5.57	4.64	0.93
Env Sys & Societies	SL	4.92	4.15	0.77
Psychology	HL	5.64	4.67	0.97
	SL	5.43	4.32	1.11
Biology	HL	5.18	4.32	0.86
	SL	5.00	4.24	0.76
Chemistry	HL	6.13	4.47	1.66
	SL	6.25	3.93	2.32
Physics	HL	7.00	4.60	2.40
	SL	5.00	4.04	1.46
Mathematics	Studies	5.75	4.41	1.34
	HL	6.43	4.46	1.97
	SL	5.78	4.38	1.40
Music	HL	4.17	4.47	-0.30
Visual Arts	HL	5.14	4.78	0.36
	SL	5.50	4.35	1.15

## 創業者奨学金

## KIST大学支援奨学金

KIST大学進学支援奨学金はDPの最終学年に高い成績を修める努力をし、40点以上の高得点を取得した生徒に贈られます。2016年度卒業生からは12名のというKIST史上最高人数が本奨学金を授与されました。皆さんおめでとう！！皆さんのこれからの学習における成功をお祈りしています。

### Silver Awards



Jiaying

Anisha

Ji Ye



Motoi

Sara

### Bronze Awards



Angela

Pranita

Misol

Raghav



Saya

Keun Woo

Tyson

**注意:** KIST Study Scholarships (KIST就学奨学金) の出願締め切りは9月14日木曜日の午後4時です。いかなる理由があっても、期限を過ぎての出願は認められません。詳細は2015-16年度に送られたE-CommunicationsのNo. 326をご確認いただくか、学校ウェブサイトのサポートタブから創業者奨学金ページにお進みください。

## KISTの人工芝の安全性について

アメリカでの、廃タイヤを再利用した人工芝用充填剤(ゴムチップ)の発がん性問題が取り沙汰された記事を目にされた方もいらっしゃると思います。

当校の人工芝にも充填剤(ゴムチップ)が使用されていますが、そのゴムチップの安全性について人工芝メーカー(積水樹脂㈱)およびゴムチップ会社(㈱東洋ゴムチップ)に調査を依頼しました。KISTの人工芝に使用されている充填剤(ゴムチップ)についての調査結果をご報告いたします。

### ゴムチップ材料

廃タイヤを再利用したものではない。自動車窓枠部材、自動車用防振部材、自動車部品用ホースなどの工場発生材を主原料とする再生ゴムチップである。

### 検査について

充填剤(ゴムチップ)をはじめ人工芝に使用される全ての原材料について、第三者機関による土壌汚染対策法に基づく試験を実施し、出荷(使用)している。

### 検査結果

- 土壌汚染対策法に基づく溶出試験にて、分析項目26物質について、溶出の検出無し
- 土壌汚染対策法に基づく含有試験にて、分析項目9物質について、含有の検出無し

詳細の調査報告データをご覧になりたい方はメインオフィスにてご覧いただけます。ただし各社ならびに検査機関からの報告は日本語のみとなりますことをご了承ください。



毎年夏休み中に人工芝のメンテナンスをしています。

## エレメンタリースクールニュース

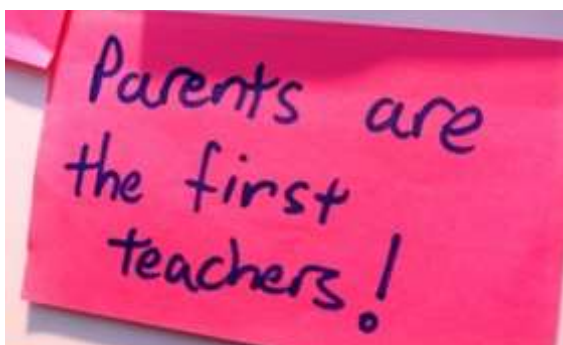
皆様、夏休みを満喫されましたでしょうか。

夏休み中は、私自身、家庭で子どもたちに対して定めたルールや約束事を緩めてしまうことが良くあります。息子たちは休み中夜更かしをし、テレビを普段より長い時間視聴し、普段よりずっと多くのアイスやお菓子を食べています！しかし、学校が始まり次第、これらのルールや約束事をしっかり守り、規則正しい生活に戻すことが重要だと考えます。

親業は簡単なことではなく、時として私自身、正しいことをしているのか自信がなくなることもあります。「親」というもの、また様々な親としての躰方針には色々な呼び名がつけられています。

まず、「ヘリコプター・ペアレント」というものがあります。親たちを対象とした雑誌の解説によると、このタイプの親たちは常に子供たちについてまわり、子どもたちが正しい指導を受けているかを確認し、子供の友人を選び、宿題なども手伝いすぎる傾向にあるそうです。また、過保護すぎる親もいます。popsugar.comによると、このタイプの親は子供が当然行える・行うべき作業や課題に対して過剰な賞賛を与え、物品による褒美を過剰に与え、助けを求められていない場合でも手を貸し、子供が失敗する可能性を全て事前に阻もうとします。また、「除雪親」というなかなか興味深い呼び名を付けられるタイプの親もいます。Today's Parentによると、このタイプの親は子供が成功への道を真っ直ぐ辿れるよう常に先回りして障害を取り除くのだそうです。このタイプの親には子供がほんの僅かな不快感や不安、不満、不快ではあるかもしれないが、社会性の発達には不可欠であるこれらの感情も感じさせることがないように、これらを徹底的に排除することもあるそうです。

息子たちが学校に戻り、日常が戻ってきた今、私も自分の親業を振り返っています。そして、私自身も間違いなく上記の過ちを犯しています！しかし、私は、息子たちが時には失敗をし、そこから学ばなければならないということ、挫折し、そこから自分で立ち直ること、自立することの大切さを学ばなければならないと自分に言い聞かせています。また、同時に息子たちが愛され、気にかけてられ、家が安全な場所であるよう配慮する必要があることも認識しています。もちろん簡単なことではありませんが、親として、これらのバランスを取りながら息子たちを育てることが親として、私の責任であると考えています。



最後に、親としての私の指標となる2つの言葉を引用します。

人としての成功は子供のために何をしてやるかではなく、子供が自分自身で行動できるように教えることで達成される。

—Ann Landers

道程を子供に合わせて準備するのではなく、子供が将来の道程に立ち向かえるよう準備せよ。

—Karl Kampakis

2016-2017度に、皆さんや、みなさんのお子さんたちと一緒に活動することを楽しみにしています！

**Kevin Yoshihara**  
Elementary School Principal

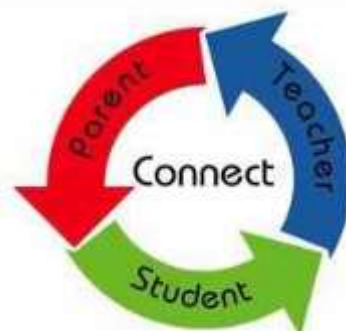


Anne-Tom, P. (2016, July 07). 7 signs you're overparenting. Retrieved August 03, 2016, from <http://www.popsugar.com/moms/Doing-Too-Much-Kids-29467686>

Bayless, K. (2015). What is helicopter parenting? Retrieved August 02, 2016, from <http://www.parents.com/parenting/better-parenting/what-is-helicopter-parenting/>

Kampakis, K. K. (2015, August 25). 10 common mistakes parents today make (me included). Retrieved August 02, 2016, from [http://www.huffingtonpost.com/kari-kubiszyn-kampakis/10-common-mistakes-parents-today-make-me-included\\_b\\_4753451.html](http://www.huffingtonpost.com/kari-kubiszyn-kampakis/10-common-mistakes-parents-today-make-me-included_b_4753451.html)

Waverman, E. (2015, January 14). Snowplow parenting: The latest controversial technique - Today's Parent. Retrieved August 02, 2016, from <http://www.todayparent.com/blogs/on-our-minds/snowplow-parenting-the-latest-controversial-technique/>



## エレメンタリーインターン

### エレメンタリーの新しいインターン生

世界中の教育実習生に機会を提供するため、今回KISTでは、マレーシアからのインターンを迎えることになりました。マレーシアのTaylor's Universityで教育学士号取得のために学習中のMs Amanda Leeが、9月からの7ヶ月間、エレメンタリーの様々な学年のサポートをして下さいます。

Ms Leeは、子どもたちと、彼らの持つ可能性が世界を変えることができると考え、教員を目指すことを決意したそうです

皆さん、Ms Lee をKISTコミュニティに暖かく迎えてください！



## PYPニュース

かつて、新学年・新学期といえば、教師が、教室の壁などに紅葉した色とりどりの葉を描いて生徒を迎えたものでしたが、ここ数年、ケイ・インターナショナルスクール東京ではそのような機会はありませんでした。それどころか、皆の新学期の記憶として残るのは、台風や洪水警報のことなのではないでしょうか。

しかし、曇り空や風雨の中の登校も、新学期を迎えた生徒たちの意欲や元気を削ぐことはなかったようです。生徒たちは皆、新しいクラスに馴染み、新学年への期待と好奇心で一杯になっています。

今年はKIPSからたくさんの新しい生徒を迎えることができたことを嬉しく思っています。皆、新しいクラスにすんなりと馴染み、自然にKIST学習環境に溶け込むことができました。新しい生徒が増えただけでなく、エレメンタリーの教室配置にも変化がありました。K1とK2にそれぞれクラス(K1BとK2B)が増え、各クラスでの学習に役立てるため、ラップトップを入れた大型カートが3台配置されました。

これら新しい変化は、生徒にとって友だちが増え、新しい問題解決策を提示し、新しいことに挑戦していくという、皆にとってより良いものをもたらしてくれると思います。皆さんがここKISTで実り多い一年を過ごされることを祈っています。



**Clay Bradley**  
PYP Coordinator / Elementary School  
Vice Principal



## K1及びK2の変更点

KISTの皆様、こんにちは。みなさん、お気づきになりましたか？今年度から、KISTのK1、K2クラスは、Elementaryの他のクラス同様、ふたクラスになりました。Kindergarten Playgroundよりから、1階にK1AとK1B、そして、2階にK2AとK2B、K3AとK3Bクラスとなりました。

クラス数の増加に伴い幾つかのことが今年度より変わりました。

### ● 登降園時に関して

K1クラス、K2クラスの保護者の方はElementary Foyer前のBreeze Wayに8時35分を目安に登園してください。8時35分から各クラス担任がElementary Foyerに子ども達と整列をし、各教室へ連れて行きます。

K3クラスはECE Playgroundにて過ごします。お子様を直接、ECE Playgroundまでお連れください。その際、保護者の皆様にはお手数ですが、校舎内を通らず、Fieldに沿いまして、West Building前を通り、ECE Playgroundまでお進みください。特に、K1クラスが登園時の準備をしている中を通ることはお避けください。

### ● 降園時間に関して

登園時同様、15時20分を目安に(Elementaryの下校をすみやかにするため)子ども達はクラス担任とともに、Elementary Foyerへと来ます。必ず、直接担任からお子様をお引き取りください。

### ● 早朝、夕方保育に関して

#### 早朝保育

K1クラス、K2クラスの早朝保育は、バス登園の子どもがスクールに到着しだい、担当のスタッフと3階Libraryへ行きます。スクールバス到着前に登園される方は、Elementary Breeze Wayにて、担当のスタッフをお待ち下さい。スクールバス到着後はLibraryへ直接お連れください。

#### 夕方保育

K1クラスからG2クラスの夕方保育に関しては、通常、ECE PlaygroundもしくはLibraryにて17:00まで過ごしております。17:00以降はMultipurpose Roomにて 過ごしております。



### ECE AreaからLunch Helperの皆様へ お願い

各クラスを綺麗に保つため、ECEクラスでは、各クラスに簡単なモップを購入しました。各クラス、食事後、子ども達がまず自分のこぼした食事などを掃除します。Lunch Helperの方には、今までのお仕事に追加して、モップにWet Sheetを取り付け、床の清掃をお願いいたします。

KISTで一番小さな子どもたちのグループ

K1クラスとK2クラスでは、一番はじめのUnitとしてWho We Areを学んでいます。

皆様のご協力に感謝いたします。

**Eri Ozawa**

Early Childhood Coordinator (K1, K2) /  
Preschool Coordinator



K2: 'Who We Are'ユニット一園庭へのお散歩を通して、自分たちの五感について学んでいます。



K1: 'Who We Are'ユニット一毎日の登園時の用意から自分たちの園での仕事について学んでいます。



## 5年生の美術遠足

G5は8月26日の金曜日に、美術世界への探求を、新宿区の東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館への遠足でスタートさせました。

生徒たちは展示されていた幾つかの動きのある作品に魅了され、また、双方向性のデジタルプロジェクション作品に積極的に触れて楽しみました。展示の双方向性によって、生徒たちは、作品の訴求力を強めるために五感に訴えることの力について考えることができました。

この遠足は、クラスのUOI「どのように表現するか」の探求を始める良いきっかけともなりました。

この貴重な経験によって、生徒たちが作品を制作する際の材料や手法の選択に柔軟性を生み、創造性を発揮し、更に素晴らしい美術作品に触れ、学びたいと思うようになってくれれば、大変嬉しく思います。

生徒たちの熱意と真剣な態度を嬉しく思っています。また、熱心なサポートを下された  
Mr Archibald、Mr Grant、そして Ms Rachel に感謝します！

生徒たちの遠足での感動や興奮の一端を、以下の写真で共有させてください。

**Helen Campbell**  
PYP Art Teacher



## LEAPニュース

KIST コミュニティの皆さん、こんにちは！ 2016-17年度のLEAPコーディネーターを務めることになりました、Amber Guarente と申します。KISTエレメンタリー生の英語や算数学習のサポートをできることを非常に光栄に思っています。

LEAP ホームページが新しくなりました！ LEAP関連の情報は全てKISTウェブサイトのサポートタブからご覧いただけます。ご質問がございましたら、サポートタブ上のLEAP FAQページを御覧ください。



今年はLEAPスケジュールに若干の変更があります。K1とK2は、エレメンタリーのスケジュールに合わせて、通常の授業時間を延長したため、朝LEAPを提供いたしません。また、今年の始業前英語発展クラスの提供はK3からG5の生徒のみ、放課後算数サポートクラスはG1からG5の生徒にのみ提供されています。



今年度から、LEAPへの参加に関する判断は、新学期に行う診断テストを元に行うことになりました。また今年度から、学校から始業前LEAPへの参加を求められた生徒、または推奨された生徒は、放課後英語発展コースには参加できないという方針を設けました。さらに、今年からは出席や宿題の提出状況をしっかりと確認してまいります。生徒がLEAPクラスに頻繁に遅刻している場合や、欠席の場合はメールで保護者にご連絡させていただきます。

お子さんの自主性を重んじるためにも、毎日の学校の準備や、必要な物の用意をお子さんにお任せいただけるようお願いいたします。幼いうちから責任を持たせることは、お子さんにとって生涯の宝となる、重要なスキルの習得につながります。

皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。もし、ご質問がございましたら、ご遠慮無く以下宛にご連絡ください。  
[leap@kist.ed.jp](mailto:leap@kist.ed.jp) 今年も一緒に学習していきましょう！

**Amber Guarente**  
LEAP Coordinator



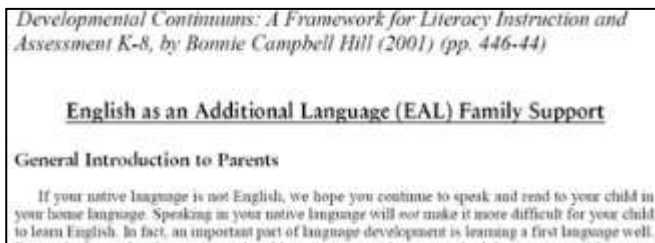
## エレメンタリーELS

### 重要なPYP用語の使用

2016-17年度の始まりにあたり、新たにKISTに入られた皆さんにエレメンタリーの英語サポート(ELS)部門をご紹介します。その後、学校で毎日使用されるPYP用語のお話をさせていただきます。

エレメンタリーの各学年には1名(高学年)か2名(低学年)の英語サポートインストラクターが配置され、特に、以下2点に焦点をおいて、授業計画や教室での担任のサポートを行っています:生徒のPYP概念への理解を補助、そして言語知識やスキル発展のための補助です。ELSにはそのためだけの異なるカリキュラムは存在せず、すべてがPYPカリキュラムに沿ったものになっています。(詳細は<http://www.kist.ed.jp/node/77>をご確認ください)

PYPは非常に言語の占める比重の大きいプログラムであるため、本カリキュラムは言語習得に最適の環境であるとも言えるでしょう。各学習単元に用いられる語彙の豊富さと、難易度の高さは生徒の言語能力の発達を促進させる要因の一つです。その上、さらにPYPの超教科的な単語が加わります。PYPの基本概念8つ、学習者像を表す10の性質、12の態度と、5つの超教科的スキル。すべての学年の生徒が繰り返し触れ、学習するこれらだけでも、非常に豊富な語彙が習得できます。



Bonnie Campbell Hillの著書のこの章では、子どもたちが家族と学校で学んだことについて自身の母語で話をするための重要な認知的利益について述べています。本著はお子さんの学年のMoodleページから日本語、韓国語、英語でお読みいただけます。

G2Bの生徒たちは、個別の読書記録活動の一環として、PYP学習者像と、ふさわしい態度について関連付けを行うことを求められています。Aina (G2B)が*The Miraculous Journey of Edward Tulane*を読みながら付けた読書記録を見せてくれます。読書の中で、「Abileneとその祖母が思いやりのある人たちである」事に気づきました。



学習全般に非常に重要になるこれらの単語をお子さんがしっかり理解できるように、是非、家庭でもサポートをお願いします。ご家庭で学校のことを話すときなどに積極的にこれらの単語を使うだけでも、お子さんの役に立ちます。学習者像とそれを表す単語の英語・日本語版は、KISTウェブサイト上でご確認くださいませ (<http://www.kist.ed.jp/ja/node/141>)。また、PYP用語をその他の言語でお知りになりたい方はどうぞ以下、私のアドレスにお問い合わせください: [rachel.parkinson@kist.ed.jp](mailto:rachel.parkinson@kist.ed.jp)。

**Rachel Parkinson**  
Elementary ELS Coordinator /  
G5 ELS Instructor



G5の探求単元、「私達はどのように表現するか」での超教科的スキルの中心がコミュニケーションであることを表すクラス掲示。

## 地域社会との関係構築

昨年度はKISTコミュニティの皆様のご協力のもと、多くの企業・団体様と関係を構築することができましたこと、厚く御礼申し上げます。コミュニティメンバーの皆様が授業で講演をしてくださるといった機会に加えて、昨年度は皆様のご協力でもKIST Career Experience Program (職業体験プログラム)を初めて実施することができました。職業体験に参加した生徒の反省や感想を冊子の形にまとめました。是非、右図のリンクから彼らの体験談にアクセスしてください。(本校のコミュニティ関係構築プログラムにアクセスするにはこちらを[クリックしてください](#))



プログラムのさらなる発展には皆様のお力が必要です。生徒の夢や視野をさらに広げるために、地域社会との関係構築をご検討いただける方は、是非、オフィスのDevelopment Manager、本田 行則 [yukinori.honda@kist.ed.jp](mailto:yukinori.honda@kist.ed.jp) までご連絡ください。

# KIPSニュース



## 新しいKIPSが10月17日に開園します！

皆さん、こんにちは。もうご存知かと思いますが、浜町にありましたKIPSのキャンパスは、昨年度をもち閉園しました。そして、今年度からは、2代目KIPSとして森下駅近く(江東区常磐2-9-7 グリーンプラザ深川常磐1階)に開園することになりました。この森下KIPSは日本政府、内閣府より、正式に企業内保育施設として、先日認可されました。

KISTに新たに入園、入学された方はKIPSの名前を聞くのは初めてかも知れませんが、KIPSは私達の一番小さな子ども達(0歳児クラスから2歳児クラス)学ぶ施設です。企業内保育施設ですので、KISTに勤務する職員の子供が優先となりますが、KISTへ通うお兄ちゃん、お姉ちゃんの妹、弟もちろん入園可能です。ご興味のある方は是非、KISTオフィスまでお問い合わせください。

KIPSの職員は幼い子ども達はひとりひとり、どんなに幼くても個性がしっかりと認識しております。また、みんな、小さい子どもが大好きで、我慢強く、とても優しいスタッフです。ひとりひとりの子どもの成長発達段階にそくした援助をしていく中で、子ども達の健やかな成長を促すことを心がけ、PK2卒園後にはスムーズなKISTへの進級ができることを目標としています。

今号Cometでは園舎がまだ完成していないため、写真を載せられませんが、次号では新しい園舎のお披露目とかわいい子ども達の写真をたくさん紹介できたらと思います。

**Eri Ozawa**  
Preschool Coordinator / Early Childhood Coordinator (K1, K2)

毎日の流れ(予定)

	0歳 (個人のリズムに応じて)	1歳 (個人のリズムに応じて)	2歳
7:30	早朝保育	早朝保育	7:30 早朝保育
9:00	登園開始・視診・オムツ交換 ・水分補給早く登園した子	登園開始・視診・オムツ交換 ・水分補給早く登園した子	9:00 登園開始・視診 室内遊び ・水分補給早く登園した子
9:15	朝の会	朝の会	9:15 片付け・トイレ
9:30	戸外散歩	戸外散歩	9:20 お楽しみ
10:30	散歩から戻り、手洗い オムツ交換	散歩から戻り、手洗い オムツ交換	10:00 午前のおやつ 10:20 戸外散歩/アート
10:40	離乳食(午前食)	室内遊び	11:10 日本読書活動
11:00	室内あそび 着替え 各自午睡	食事 着替え 各自午睡	11:40 食事 12:30 トイレ/午睡
13:50	目覚め・オムツ交換 体温・離乳食(午後食)	目覚め・オムツ交換・体温 おやつ	13:40 目覚め、トイレ・遊び/ お話し
14:10	室内あそび オムツ交換 さよならの会	室内あそび オムツ交換 さよならの会	14:30 午後のおやつ さよならの会
15:00	降園開始	降園開始	15:00 降園開始
~18:30 (19:00)	延長保育	延長保育	延長保育



新しいKIPSが10月17日に開園します！

## ホームページ追加: KIST ACADEMIC PERFORMANCE (KIST学習成績)

KISTは学部試験における生徒の成績を誇らしく思っています。KIST生のDP結果、ISA及びPSAT試験結果をウェブサイトからご覧いただけるようになりました('Learning'「学習」タブを選択いただくか、[こちらをクリックしてください](#))。

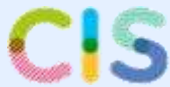
# 皆様への お知らせ

CIS 認可訪問 &  
IB 5年再評価訪問

年11月26日から  
12月2日まで

上記日程で、12名の訪問団が、KISTでどのようにIB及びCIS基準に従った実践が行われているかを評価します。基本的に、訪問団のメンバーはスタッフとの面談や学校・授業観察を行います。

保護者の方にもご参加願う可能性もあります。この重要な評価訪問への、皆様のご協力、ご尽力に感謝いたします！



## 2016入学説明会

2017 - 2018年度向け

KISTでは2017 - 2018年度入学希望者を対象とした入学説明会を行います。

アドミニスタフおよび教師が直接皆さまからの様々な質問(入学手続き、カリキュラム、大学進学、その他学校生活全般について)に直接お答えいたします。

また、学校施設の見学もできます。

日時:

October 15, 2016 (Saturday)

セッションは2部制です:

- (1) English: 9:45 a.m. - 12:00 p.m.
- (2) Japanese: 1:15 p.m. - 3:30 p.m.

受付締切は:

October 14, 2016 (Friday)

要予約です！

[www.kist.ed.jp](http://www.kist.ed.jp)

## KIST Amazon ウィッシュリスト

KIST図書室に寄付をしていただけませんか？

読書は学習には欠かすことのできない行為ですので、私達は常に図書室蔵書に新しいものを加え、維持する努力をしています。KIST図書チームは図書室に加えたい蔵書のリストをAmazon Japan上で公開しています。図書室にご寄付頂ける場合は是非、以下リンクのリストをご確認ください。

皆様のご協力に感謝いたします！

[Elementary Library Wish List](#)  
[LMC Wish List](#)

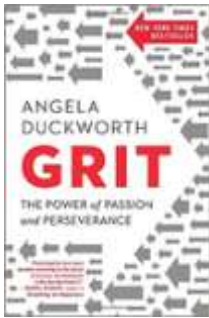
<http://amzn.to/2bGt3FB>  
<http://amzn.to/2bX7x11>



## セカンダリースクールニュース

### GRIT 及び保護者説明会について

お子さんが学校生活や学習を楽しみながら、新学年度を順調にスタートされたことを願っています。この場をお借りして、8月26日の説明会で簡単に触れた内容と、今年度の保護者説明会の目標についてお話させていただきたく思っております。



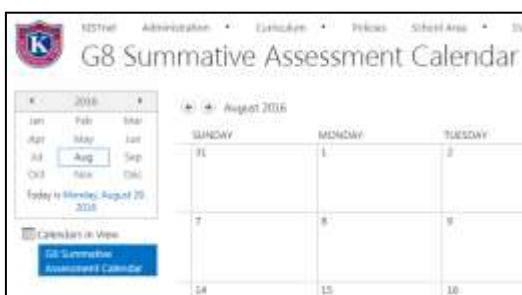
今回、ご紹介する“Grit”の概念には、私も個人的に深い関心を抱いており、2年前に生徒たちにも話をしたことがあります。そして今、夏の間を読んだ教育書(左図)によって、再度Gritについて検討することになりました。この概念についての研究は、学校だけでなく、様々な組織にも関連しているので、KISTコミュニティでも既にご存じの方が多いかもしれません。私が読んだ本によると、様々な人生

や生活様式がある中で、人類の成功に最も大きく寄与する・またはその前兆を示す性質・要素は”Grit”(勇気や闘志)の概念だということです。私が生徒たちに共有した、この本の印象的なフレーズは、「人生は短距離走ではなく、長距離走である！」です。その後、私は、生徒たちに自分たちの「長距離的」目標について問いかけました。上記の本は最近出版されたものですが、2013年にDuckworthがオンラインTED Talkで6分間GRITについて講演したものを、皆様にも是非おすすめいたします。

次に、私の今年度の目標はセカンダリーの説明会をより身近で実践的、且つ双方向性の高いものにしたいと考えております。そのため、これからの説明会は発表形式のものから、ワークショップ形式のものにしていきたいと考えています。まず、9月12日(月)の午後6時から行われるMYP説明会をワークショップ形式で実施します。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

最後に、8月の保護者説明会が皆さんのお役に立ちましたことを願っています。また、9月に私から説明会でお話した幾つかの取り組みについてE-Communicationをお送りする予定ですので、お読みいただけるようお願いいたします。そして、繰り返しになりますが、ご質問やご意見がございましたら、ご遠慮無く私にお尋ねください！

**Mark Cowe**  
Secondary School Principal



## セカンダリースクールクラス委員

今学年度からセカンダリースクールで「クラス委員」制度が導入されました。クラス委員はG6からG12までの全てのクラスから選挙で選ばれます。生徒自治のために活動する生徒会(SRC)と異なり、クラス委員はクラス単位で、生徒の「**責任感、思いやりに満ちた環境、そして尊敬の念**」を促進するために活動します。この長期的なMYP Serviceへ貢献することで、委員たちは、リーダーシップや時間管理などのスキルを身につけることができます。

もっとも重要な点は、委員たちは、Student Conduct Coordinator(生徒指導コーディネーター)の「代理」として、生徒たちが**Student Homework Diary**に記載されている**KIST Student Code of Conduct**(校則)を守っているかを確認し、学校の安全で安心な学習環境を維持するという事です。



**Andi Licuanan**  
Student Conduct Coordinator



クラス	クラス委員
6A	Jessie
6B	Sara
7A	Anna
7B	Yuzu
8A	Sujin
8B	Thilo
9A	Ewan
9B	Lilya
10A	Natasha
10B	Emiri
11A	Aska
11B	Sarah A.
12A	Akira
12B	Hardik



## MYPニュース

### セカンダリーの新・編入生が一足先に学校生活をスタート

新学期前の金曜日の午後、KISTの新・編入生たちが新しい環境に馴染むために設けられたプログラムに参加するために集まりました。SRCの新役員によって企画されたこのイベントは情報提供と友達づくりを目標に行われました。

新しい生徒たちと、昨年度のSRCクラス委員たちは、先生方や学校アドミニからこれからのセカンダリーの生活で役に立つ情報や予期すべき事柄についての話を聞きました。



説明で使われた、セカンダリー生徒の学校生活の一コマ。

新しい生徒たちが少しでも早く皆に打ち解けられるような活動もいくつか行いました。SRCメンバーによる学校案内に続いて、生徒たちが知っておくべき規則についての説明があり、その後、質疑応答の時間が設けられました。



新しい生徒と、SRCメンバーによるice-breaker活動。

イベントの終わりにはIT担当のMr Whittakerから、学校のITシステム利用に関する説明がありました。

全体として、新しい生徒の皆さんがKISTでの最初の一步を良い形で踏み出すための、とても有意義なイベントとなりました。

### MYP入門ワークショップ、9月12日に開催

毎年、初めてIB MYPプログラムで学ぶお子さんたちのサポートに苦戦されるKIST保護者がいらっやいます。エレメンタリーでPYPを学んだ生徒のご家族も、KISTに新しく入学した生徒のご家族も、新たなチャレンジに際し、同じような疑問や困難を感じていらっやることと思います。

KISTのMYPコーディネーターであるMr Rob Whiteと、セカンダリー校長Mr Mark CoweがMYPIにまだあまり馴染みのない保護者の皆さんを対象に、本プログラムに特有の要素を詰め込んだワークショップ形式の説明会を企画しました。

ワークショップは英語、又は日本語で参加可能で、生徒たちのMYP課題が教員によってどのように評価されているのかを、体験していただけます。さらに、教員がどのように評価基準を用いて、生徒の到達度を判断しているのかも実感していただけます。

また、Mr Cowe より、学校の成績評価過程について説明させていただきます。エレメンタリーの成績表と、セカンダリーのものを実際比較していただくことで、お子さんへのサポート方法の違い・どのようにサポートを行えばいいか、もご理解いただけます。

本イベントの最後には、MYP 必須要素であり、また、保護者の方から頻繁にお問い合わせいただく分野でもある、Service (奉仕活動)についてもご説明させていただきます。



MYP Service活動を理解するため保護者、生徒、教員が勉強会に参加。

新しい保護者の方には近日中にワークショップの申し込みに関するE-Communicationをお送りします。ワークショップ形式のため、席数が限られておりますので、お早めのお申し込みをお願いいたします。

**Robert White**  
MYP Coordinator



生徒主導型面談はセカンダリーの進捗報告方法の一つです。

## Lilyaのイタリアレポート

### 地球は丸い。丸いボールが地球を動かす！

今でも、イタリアに行けたのは夢ではなかったのかと思います。学年度の終わりが近づき、夏休みを目前にしたある日、突然、Football for Friendship プログラムの学生記者としてミラノに4日間滞在することができる機会を与えられました。私に与えられた任務は、選手たちや、他国からの学生記者にインタビューすることや、チームの為に通訳を行うことでした。最初はこのような役割を果たすことができるかためらっていましたが、それでもミラノに行くことができるという千載一遇のチャンスを見逃したくなかったので、8年生で学習したジャーナリズムの単元の知識を最大限に活かすことにしました。

Football for Friendship (F4F) は国際的な青少年のための社会プログラムで、世界中の様々な国でイベントを実施しています。視野をさらに広げ、9つの主要な価値観：友情、平等、公平さ、健康、平和、奉仕、勝利、伝統と尊厳、を身につけてもらい—もちろん、試合も行うために、世界中のトップクラブから12-14歳の選手を招聘します。今年のプログラムはイタリアのミラノで開催され、4大陸—アフリカ、アジア、ヨーロッパ、そして南アメリカから32カ国がサッカーへの情熱を共有するために参加しました。

私は、15歳以下の選手8名、コーチ、各メディアの取材陣、そしてコーディネーターと一緒に直行便で12時間、9,700キロの大旅行に臨みました。現地に着くまで、街中から、UEFAチャンピオンリーグ・ファイナルがもたらす「サッカーフィーバー」の熱気を感じることができました。

イベント初日には、選手たちの最初の試合となるストリート・サッカー・トーナメントが行われました。また、私は緊張でいっぱいになりながらUEFAチャンピオン選手のMax Meyer、Leon Goretzka、Domenico Criscito、Michel Salgado、そして伝説の選手であり、プログラム大使でもあるFranz Beckenbauer にインタビューをしました。夜には Pin Race Party がありました。すべての国(の参加者)に自国旗のバッジがたくさん入った箱が与えられ、他国とバッジの交換をして、32カ

国分全てのバッジを集めることが目的です。この試みは、参加者の殆どが英語を話さないため、なかなか興味深い事態になりましたが、それでも、できるだけたくさんバッジを集められるよう、頑張りました。

次の朝も、新たな一日に期待しながら目を覚ました。まずは、フォルツェスコ城で開催された、ハンガリー対スロベニアの、ストリート・サッカー・トーナメントの最終試合を観戦しました。その後のフォーラムでは、参加した32カ国の記者の中から、世界大使 Franz Beckenbauer にインタビューをすることができる3名のうちの1人に選ばれました。Beckenbauer にインタビュー出来るなんて、私の想像を超えた出来事でした。彼は、私の質問、「超能力を持っていたら何をしたいか」に対して、世界に平和と友情をもたらしたいと答えてくれました。また、私達にとってまたとない幸運なことに、フォーラム後は、レアル・マドリードがアトレティコ・マドリードを下したUEFAチャンピオンズリーグの決勝戦を観戦する事が出来たのです。試合会場のサン・シーロまでの道のりでは、私達の乗ったバスを警察車両が前後左右を固め、信号でも止まることなく走り抜けるという、まるでVIPのような扱いを受けました！両チームのサポーターやファンはゴールに声をからして声援を送り、点をとられると本気で落胆するという熱狂的な応援をしていました。今でも、私の耳にはサポーターたちの歓喜の絶叫が残っています。

この経験は、間違いなく、私にとって、人生に一度体験できるかどうかというほどの掛け替えのないものとなりました。



た。このイベントに参加した日本人選手たちや、アルジェリア、ブルガリア、セルビア、ロシア、アルメニアやトルコなどからの青年記者たちと友達になることができました。今でも、彼らとはSkypeで連絡を取り合っています。ここで培った友情はずっと続くものであり、思い出は決してや経験は決して褪せることはありません。

残念ながら、私のホームチームである日本はストリート・サッカー・トーナメントで三戦二敗と、あまり良い結果を残す事は出来ませんでした。この結果に力を落としていたチームにコーチから掛けられた、「つらい経験は君たちを強くする。とにかく前に進むことだ」という言葉が私の心に残りました。

Football for Friendship は参加者の視野や考えを広げる素晴らしいプログラムです。このプログラムは、異なる言語を話し、異なる宗教や文化、民族的背景を持っていても、スポーツによって世界を一つにすることができる可能性を示唆してくれました。私がミラノで経験する事が出来た様々な事柄や、その記憶、作ることができた絆は一生私の宝になるでしょう。今、私は心からサッカーと友情は世界を変える力となる事が出来ると確信しています！

Lilya (G9B)



## セカンダリーSRC

新年度が始まり、2016年度のセカンダリー役員チーム— Rachel (会長)、Nina (副会長)、Krisha (会計)、Sara (書記) そして Akiko (広報)—はSRC活動を本格的に始めるためのクラス役員選挙のプロモーションを始めました。選挙は学校が始まって、最初の数週間で行われるので、選挙活動期間は短いです。クラス代表候補者は毎週行われる集会でクラスに対する意見を述べ、それと同時にKIST生の生活をより良くするための新たな提案を書きあげなければなりません。

また、昨年度行われ、成功したイベントは、今年も続けていきます。特に楽しみにしている去年からの継続イベントに、Open Field Dayがあります。Open Field Day は毎週一回、昼休みに校庭でのスポーツを禁止する日です。これによって、特にミドルスクールの生徒は、体育館で身体を動かし、ハイスクールの大多数は芝生の上でおしゃべりに興じます。天気がいい日には寝そべったり、本を読んだりしている生徒も多いです！2年前にSRCが始めたプリンターサービスは今年も続けられます。プリンターの使用は緊急時のみで、料金が少しかかりますが、家で印刷をしてくるのを忘れてしまった生徒や、家のプリンターが故障してしまった生徒などには便利なサービスです。今年、更に促進したいサービスは生徒基金です。これはSRCが生徒のために特に設けた予算です；これは生徒の生活を向上させるためのプロジェクトのために、生徒個人やグループに最大15,000円を提供するものです。昨年、この予算は、卒業式やDP美術展の際に食べ物や飲み物を用意したり、ファミリー・デイのTASSELブースのためのT-シャツと染粉の購入、チームカラーポイントの優勝者へのピザの提供費用などに充てられました。



また、学校アドミニによって役員任期にも変更が加えられました。以前は役員任期は学年度中(8月末～6月)までだったのですが、これがカレンダー上の一年(1月～12月)に変更になりました。この理由は、これまでのシステムであった夏休みの空白の2カ月をカバーし、引き継ぎを円滑にすること、12年生が1月から試験の準備を出来るようにするためです。現在は移行期にあるため、会長と会計は1.5年を任期とし、書記、広報、そして副会長は6か月任期となるため、12月には3つの役職の選挙が行われます。

SRC はクラス委員、特別委員、そして学校アドミニとCAと良い関係を維持しながら実り多い一年を送れることを願っています。また、私たちの主な目標は常に生徒たちの生活を可能な限り向上させ、生徒の声を代弁し続けることです！

**Nina (G12A)**  
Vice President



### Executive Officers 2016-2017

President



**Rachel (G11A)**

Vice President



**Nina (G12A)**

Treasurer



**Krisha (G10A)**

Secretary



**Sara (G11B)**

PR Officer



**Akiko (G12A)**

## スタッフ10!

今月のStaff 10! では、ELSインストラクターとして2014年3月からKISTに加入し、その後2015-16年度の3年生担任を経て、今学年度からセカンダリーのMYP科学教師として勤務している**Christopher Carufel**をご紹介します。



「アメリカ生まれ!」の  
Mr Carufel.

### ● 出身地について面白いことを教えてください。

ミネソタ州というと雪で覆われた厳しく寒い冬景色を連想する人が多いと思います。そして、それはそのとおりです! でも、雪が溶けるとあたりが一気に鮮やかな緑で覆われる場所でもあるのです。ミネソタ出身者は冬の寒さにもめげず心の温かい人ばかりですが、一方、暖かい季節を思いつきり満喫する活動的な人々で、春から秋にかけてハイキング、カヌー、キャンプなど様々なアウトドアスポーツを楽しみます。

### ● 世界で一番好きな場所はどこですか?

風の音が吹き渡る、松林に囲まれたある丘の上。

### ● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか? その理由を教えてください。

私が高校の時に癌で亡くなってしまわれた、中学時代の科学教師、Ms Levinskiです。彼女の授業のおかげで科学を愛するようになり、教員となるまでになりました。彼女が私の人生に与えてくださった影響については是非お伝えしたいです。

### ● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか?

やらなければならない事がある時でも簡単に眠れることでしょうか。でも、不思議な事に、次の朝早く起きなければならない時に限って眠れないのです。役に立たない、残念な才能です!

### ● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

高校を卒業する前に準学士号を取得したことです。

### ● あなたにとって一番の宝物は?

Zippity(ぬいぐるみ)です。シベリアンハスキーが欲しかったけれど、飼うことができなかった私の相棒です。今は忠実に私の、実家の部屋の「番犬」をしてくれています。

### ● ご自分を言葉で表現すると?

真面目、無分別、そして矛盾した、でしょうか!

### ● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか?

一般的に、変えることのできないことに拘泥するのはあまり良いことではありません。でも、若い時にもう少し積極的に日本語をしておけばどんなに良かったか、とは思いますが!

### ● 自分を高めるために今やっていることは?

自分がすること全てをより良く行おうと努力しています- 必ずしもうまくやることにはつながりませんが、成功不成功はまた別問題です。いつの日か、漢字の大半が私の記憶に留まってくれるでしょう。

### ● ファンに一言お願いします。

今を楽しめ!

## オフィスアップデート

### 欠席、遅刻、早退

生徒の欠席、遅刻、早退のご連絡は、メールで(担任ではなく)直接学校オフィスまでお願いいたします。メールの宛先は、[info@kist.ed.jp](mailto:info@kist.ed.jp)です。欠席や遅刻のご連絡は始業前をお願いいたします。ご連絡がない場合、お子さんの出席確認のため、メールで皆様のOffice 365アカウントにご連絡させていただきます。

### コミュニティ向け資料

学校の様々な資料がKISTウェブサイトのCommunityセクションから入手いただけます。入手いただける資料には以下のものが含まれます:

#### ● ファミリーハンドブック

学校の方針、手順、期待値などの情報を提供します。生徒の進級・進学条件を明記した**進級、進学および卒業条件**文書もこちらでご確認いただけます。

#### ● 職員連絡先

担任、教科担任のメールアドレス帳

#### ● KIST DPハンドブック

IBディプロマと、KISTでDPがどのように組織・運用されているかについての情報が含まれています

様々な活動へのオンライン申し込み(学校サポートプログラム・SSP、生徒健康診断、KIST CAへの参加など)がこちらから行えます。

CommunityセクションにはKISTコミュニティのみを対象とした情報が含まれているため、パスワードによる承認が必要です。アクセスにはOffice365へのログインが必要です。

### 休校

学年度中、悪天候(台風や大雪など)や伝染性の病気の流行などで、休校をせざるを得ない状況になる可能性があります。このような場合、コミュニティの皆様には、可能な限り速やかにE-Communicationのメールで、また、学校ウェブサイトのトップページからお知らせいたします。休校により、ご家族の皆様にご迷惑、ご不便をおかけする事もあるかと思いますが、このような状況は学校の予測や管理を超えたものであるため、皆様のご理解をお願いいたします。また、万一、休校とせざるを得なかった場合は、お子様のお迎えなどに関して、皆様のご協力をお願いいたします。



## 図書室ニュース

KIST 図書チームより、2016-17年度に戻られた皆様を歓迎いたします。皆様、夏休みを楽しみ、そして良い本を読む機会にも恵まれましたでしょうか！

### 図書プログラム

2016-2017 学年度にも、皆様に人気の図書プログラム: DEAR、サクラメダル、多文化理解や、学校の教育資料に親しみ、「読書に親しむ」機会を促進する6回目の World Cultures Dayを実施します。

November 2016						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

○ PARADE    ● DEAR TIMES

11月には早速 **Drop Everything And Read** が行われます！また、イベントの最後、11月末(11月25日)にはDEAR キャラクター仮装行列も行われます。仮装行列はイベントの最後に行われますので、衣装の準備に十分な時間をとっていただけます。G4 とG5 生徒、そして教職員にお知らせです：皆さんには、Creative Book Character Costumeコンテストに参加し、素晴らしい賞品を獲得する機会が与えられます。詳細はKIST保護者向けカレンダーを確認してください。

今年もKISTでは、**サクラメダル** プログラムが実施されます。G1 からG12 の生徒の皆さんはお気に入りの本に投票することができます。G6以上の生徒は英語と日本語、二か国語のトレーラーコンテストにも参加する権利が与えられ、G4とG5の生徒は、サクラメダルBook Bowl クラブで、他校とのトリビアコンテストに参加できます。興味のある生徒は司書に相談してください。

2017年2月にはKISTの伝統行事—**World Cultures Day**を祝います！ 詳細はこの後発行されるCometでお知らせします…

### Moodle上での図書リンク

365日、いつでも図書資料にアクセスしていただけるのをご存知でしたか？ 本当です！ 図書スタッフがいないときでもMoodleは休みません。

図書メディアセンターと、エレメンタリー図書ページへは学校メールアドレスとパスワードでログインしていただけます。アクセスしていただける資料は：Britannica School Edition (エレメンタリー・セカンダリー)、BrainPOP、Kids Infobits、World Almanac for Kids (エレメンタリー)、そしてInfobase Database、Science Online、Active History (セカンダリー)などです。更に今年の最新資料として、**The Day**、**Scientific American**、**The Economist** (セカンダリー)、そして毎日の世界情勢を調べられる**The Day Explorer** (エレメンタリー) などがありません。これら定期購読資料の詳細は図書Moodleページをご確認ください。

### LMCのインタラクティブ・ホワイトボード

KIST初のインタラクティブ・ホワイトボードが図書室に設置されました。学校は通常のホワイトボードをインタラクティブ画面にすることができるUbiソフトを購入しました。この新技術の導入は、将来的に各教室での使用を検討するためのパイロットケースとなります。司書教諭はこの技術を、G5エキシビジョン、パーソナルプロジェクト、EE(課題論文)などでの、より効果的な発表のために使用します。教員の皆さんは是非、LMCの新しいインタラクティブ・ホワイトボード利用してみてください。



KIST Library Team



## 保健便り

皆さん、こんにちは。今年からスクールナースを務めます Stephanie Paeです。新しい勤務先であるKISTで皆さんに会えるのを楽しみにしています。少し、自己紹介をさせていただきます: 私は看護で学士号(BSN)を取得しており、米国、オハイオ州の公認看護資格(RN)を有しています。また、東京大学で家庭看護の修士号(MSN)を取得しました。私は韓国出身で、4人の子どもの母親でもあります。KISTのスクールナースになれたことを光栄に思っており、これまでの看護経験を活かし、皆さんのお子さんと接していきたいと思っています。

KISTでは新任ですが、これまで約6年間、他のインターナショナルスクールでナースとして勤務してきました。私は特に小さい子どもが大好きで、子どもたちに囲まれていることに幸せを感じます。生徒、保護者、そして教職員の皆さんも、気軽にナースルームにいらしてください。私は、木曜を除く、午前8:30から午後3:30まで在室しています。

生徒の安全確保のため、保護者の皆様には以下の点についてご協力お願いいたします。

### 1. お子さんの健康状態についての情報更新

お子さんの学校生活に影響を与える健康状態や、投薬についての情報の共有をお願いいたします。また、連絡先や緊急時連絡先に変更があった場合、すみやかに学校にお知らせください。お子さんの健康状態を更新いただくことはお子さんの安全と、学校による適切なケアにつながりますので、ご協力お願いいたします。

### 2. 学校での投薬

原則として、生徒による学校への薬の持ち込みは、他の生徒による誤飲等の危険があるため、禁止されています。そのため、主治医には、できるだけ、朝・晩、一日2回の処方をお願いしていただきたく思います。もし、一日3回の処方があった場合、午後の薬を放課後に摂り、夕方の

分を就寝前といったように、時間を調整していただくことをお願いしております。もし、どうしても学校のある時間帯に薬を摂る必要がある場合、保護者の方に学校にいらしていただき、お子さんに直接お渡し・飲ませていただくなどの調整をお願いしております。



保護者の方が学校にいらっしゃるができない場合、事前にナースルームに(学校ウェブサイトからダウンロードいただける) **Permission to Administer Medication (投薬許可証)** のご提出をお願いいたします。生徒がカバンに薬を入れておくことは許可されていません。生徒は薬をナースルームに預け、適当な時間に薬を飲みに来室してください。生徒が喘息の吸入器やエピペンなど、緊急時用の薬をカバンに入れておくことは事前に学校に申請することによって許可されます。

上記、またはその他ご質問がございましたら、ご遠慮なく、以下メールアドレス宛にご連絡ください。

[sookhee.pae@kist.ed.jp](mailto:sookhee.pae@kist.ed.jp)

皆様のご理解、ご協力に感謝いたします!

**Stephanie Pae**  
School Nurse



これまで学校のナースを務めていたMrs Whittakerは10月の開校に合わせて森下のKIPSキャンパスに異動します。姉妹校での勤務ですので、これからもMrs Whittakerのお顔をキャンパスで見ることもあると思います。

## KISTへのご寄付

KISTではコミュニティの個人、または企業・団体からのご寄付を歓迎しています。皆様から頂戴したご寄付は生徒の教育環境をより豊かなものとするため、設備やサービスの改善・改良に充てさせていただきます。

ご寄付を通じて学校をご支援くださった個人・団体様に感謝するため、直近での寄付者の方の同意を頂いたうえ、*The Comet*上で発表させていただきます。

出願時にご寄付の意思を表示していただき、ご寄付をいただけるご家庭は、学校ウェブサイトから [Donation Form](#) をダウンロードの上、ご寄付いただけましたら幸いです。

皆様のご支援に心から感謝いたします

*With thanks*

Araki Family (K1B)  
Ogawa Family (K1B)  
Fukuhara Family (K2A)  
Aoki Family (K3B)

## 大学ガイダンスニュース

### 2016年度卒業生合格実績および進学先

2016年度卒業生の大多数にとっての大学生活は、後数週間でスタートします。また、異なるカレンダー(異なる学校制度)に従って大学に出願している生徒たちは、まだ結果を待っているところで、これから進学先を決定します。

国別の進学先として今年は日本が一番多く、次にイギリス、アメリカが続きました。いつも人気のカナダに出願した生徒が今年はひとりしかいませんでした。

2016年度卒業生の合格および進学大学リストは次ページをご覧ください。今年特記すべきことの一つとしては、イギリスの医学部、セントジョージズ・ロンドン大学医学部にKISTから初めて合格した生徒が出たことです。どの国でも医学部の場合、外国籍の生徒の受け入れ枠が非常に限られているため、医師になるためのコースは特に外国籍の生徒にとっては超難関となっています。もう一つは、ニューヨーク大学アブダビ校というとてもユニークで国際色豊かな大学に初めてKISTの生徒が出願し進学したことです。ニューヨーク大学アブダビ校は潤沢な資金で大学在学中4年間の全額給付奨学金プラス諸手当を支給し、世界中からグローバルマインドをもった非常に優秀な生徒を集めています。これはほんの一例で、私たちはKISTのすべての卒業生の立派な業績をたいへん誇りに思っています。おめでとうございます。卒業後の新たな人生を楽しんでください！

### 岡山大学医学部にKISTの2016年度卒業生2名が合格！

今年の卒業生からまた新たに嬉しいニュースが届きました。夏休みの間に、今年5月に卒業した生徒ふたりが日本のトップ国立大学医学部、岡山大学医学部に出願し、合格しました。4月入学のすべて日本語で行われる通常のコースですが、IBディプロマ生徒のためのIB特別入試という方式で受験しました。この方式では通常日本の主な大学、特に国立大学で必ず課せられている『センター試験』(日本の高校生)や『日本留学生試験(EJU)』(外国人留学生)を受ける必要がありません。最近ではこの方式を導入する大学が増えており、すべての授業を日本語で受ける自信のある生徒には日本の通常のプログラムに進学できる機会がより多くなってきました。

### 芝浦工科大学の夏のインターンシップ

今年も芝浦工科大学(SIT)からインターナショナルスクー

ル生向けの2週間の夏のインターンシップ応募のご案内をいただき、11年生(当時)ふたり: **Atharva** (G12A)、**Hana** (G12B)、10年生5人**Nikita** (G11A)、**Shouheng** (G11B)、**Chae Min** (G11A)、**Hyun Jeong** (G11B)、**Sara** (G11B)が参加しました。それぞれ興味のある分野の大学研究室に配属され、自分のプロジェクトを遂行し、芝浦工科大学から修了書をいただきました。おめでとうございます！



Atharva

Hana

Nikita



Shouheng



Chae Min



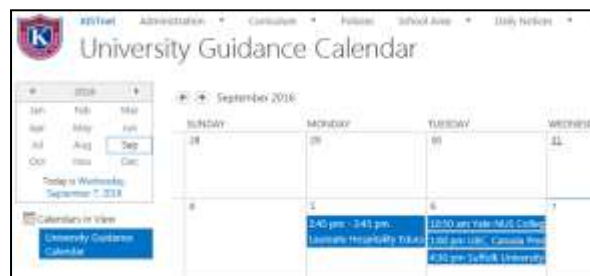
Hyunjeong



Sara

### University guidance calendar

秋にはKISTでの大学説明会、東京地区でのカレッジフェアや大学説明会などさまざまな大学進学関連のイベントが開催されます。イベントのスケジュールや詳細の最新情報は [University Guidance Calendar](#) でご確認ください。



### Mrs Keiko Okude

Career and University Guidance Counselor

Office hours: Mon, Tue, Thu, Fri

10:00-17:00

[keiko.okude@kist.ed.jp](mailto:keiko.okude@kist.ed.jp)



## 慶応大学での夏のインターンシップ

Arjun (G12A)とMirabelle (G12B)が慶応大学大学院メディアデザイン研究科(Keio KMD)で3週間すごし、各自のオリジナルプロジェクトを完成させました。Mirabelleのレポートをお読みください。

# 夏

休み中の7月に私ともう1人のKIST生徒が慶応大学大学院メディアデザイン研究所(KMD)でのインターンシップに参加し、この経験は何物にも代え難いものとなりました。当初はメディアデザインに関してはまったく予備知識が無い状態でしたが、インターンシップを終えた後は、メディアデザインとはコンピュータアニメーションといった領域だけでなく、バーチャルリアリティー(仮想現実)や拡張現実といったさまざまなテクノロジー分野にいろいろなりソースをリンクさせて、テクノロジーの応用範囲をさらに広げていくというクリエイティブな学問領域であることを知りました。

3週間のインターンシップをとおして、ソフトウェア開発、コーディング、3Dプリンティング、ハンダ付け技術などを学びました。

インターンシップの最後には自分のプロジェクトについての発表が義務付けられていましたが、IBディプロマ生徒としての経験、特にDP Biologyで学んできたことが役立ちました。私が製作したプロトタイプは脳の手術の際のバーチャルシミュレータです。私の最終目標は、よりリアルな切開経験を提供して脳の各部を理解するのを手助けすることでした。プロトタイプはそれまで私がやってきたこととは全く違って、未経験の分野の新しいスキルを必要とするものでしたが、そのことによってプロセスがさらにエキサイティングなものとなりました。

私にとって今回のインターンシップの経験すべてが目を見張るような経験で、特にコーディングに対する私の興味が高まり、将来是非役立てたいスキルの一つとなりました。

**Mirabelle (G12B)**



Mirabelleの最終発表



自分の作成したプロトタイプについて説明するArjun



指導してくださった KMDの南澤准教授とメンターの方々と共に

# 卒業生大学合格実績

## KIST 2016年度卒業生

( )=合格生徒数 | \*=奨学金付き合格  
# =2016年秋入学 | 2016年9月6日時点のもの

### イギリス

Brunel University London  
City University London  
Imperial College#  
King's College London (2)  
London School of Economics and Political Science#  
Queen Mary, University of London  
Royal Holloway, University of London#  
Royal Veterinary College, University of London  
St. Georges, University of London# (2)  
University of Bath (3)  
University of Birmingham  
University of Bristol (2)  
University College London (3)  
University of Edinburgh (3)  
University of Essex  
University of Exeter# (2)  
University of Kent (2)  
University of Lancaster  
University of Leeds  
University of Nottingham  
University of Reading# (2)  
University of Strathclyde (2)  
University of St. Andrews (3)  
University of Warwick (3) (2#)  
University of West London  
University of York

### アメリカ合衆国

Bard College  
Bentley University (3)  
California State University East Bay  
Fordham University\*  
Georgia State University  
Hofstra University  
Indiana University  
Maryland Institute College of Art  
Millsaps University  
New York University#  
Northeastern University  
Ohio State University  
Pace University (2)  
Parsons School of Design  
Philadelphia University  
Rutgers University#  
Sacramento State University  
San Diego State University# (2)  
SCAD Savannah#  
School of Visual Art  
SUNY Buffalo  
SUNY New Paltz

SUNY Stony Brook University (2)  
Syracuse University  
UC Riverside  
UC Santa Cruz  
University of Alabama\*  
University of Oregon\*  
University of Illinois# (3)  
University of Minnesota  
University of Nebraska\*  
University of San Francisco#  
Virginia Commonwealth University

### カナダ

Algonquin College  
Sheridan College#

### 日本

International Christian University (ICU) (6) (4#)  
Keio University PEARL (3)  
Meiji University#  
Nagoya University# (2)  
Okayama University Medical School (2)  
Ritsumeikan Asia Pacific University#  
Sophia University#  
Tokyo International University  
Waseda University SILS#  
Waseda University Social Science#  
Waseda University Political Science# (2)

### 香港

Hong Kong University of Science and Technology\* (2)

### アラブ首長国連邦

New York University Abu Dhabi\*#

